

令和3年第3回定例会 一般質問通告書

第3回定例会一般質問が、10月26日から10月28日まで次のとおり行われます。

【10月26日（火）】

順	通告議員	質問事項	要 旨
1	14番 大西 陽 (高志会)	1	<p>市政運営にあたって、主要な施策に対する市長の基本的な考え方について</p> <p>(1)本市が基幹産業としている農業の持続的成長を目指すための取り組みについて</p> <p>(2)市民の命と健康、暮らしを守るために、地域医療の中核を担っている市立病院を将来に向けて存続させるための取り組みについて</p> <p>(3)士別市財政健全化実行計画に対する考え方について</p>
		2	<p>市営大和牧場の現状と課題及びインフラ整備について</p> <p>(1)牧区集約の実績と効果見込について</p> <p>(2)草地の更新計画について</p> <p>(3)水源確保と給水設備の補修及び更新について</p> <p>(4)機械施設を効率よく利用するための適切な運用について</p> <p>(5)人員確保に対する支援について</p>
2	5番 奥山 かおり (民政クラブ)	1	<p>所信表明について</p> <p>(1)少子化対策について</p> <p style="padding-left: 20px;">現行の中学生以下の医療費無償化等、子育て世代への施策は継続されるのか</p>
		2	<p>財政健全化実行計画について</p> <p>(1)計画の進捗状況は</p> <p>(2)計画の検証、具体的な方法は</p> <p>(3)人件費独自削減について見直しの考えは</p>
3	13番 喜多武彦 (高志会)	1	<p>所信表明について</p> <p>(1)豊かさについて</p> <p>(2)魅力の発信強化と観光・合宿の受け入れについて</p> <p>(3)子どもや高齢者、障がいのある方が暮らしやすいまちについて</p> <p>(4)学力向上の支援と魅力ある学校づくりについて</p> <p>(5)農・林・畜産業の支援と特産物の開発促進について</p>
4	9番 谷 守 (公生クラブ)	1	<p>脱炭素化に向けて</p> <p>(1)士別市新エネルギー導入促進事業の経過等について</p> <p>(2)国が策定した地域脱炭素ロードマップにおける本市での進捗状況等は</p> <p>(3)ゼロカーボン社会実現に向けて、今後の取組等は</p>
		2	<p>高齢者の暮らしやすいまちへ</p> <p>(1)買い物サポート事業の検証等について</p> <p>(2)買い物支援や除雪制度の体制づくりと考え方について</p> <p>(3)冬季間における一時的な住まいの確保策について</p>

順	通告議員	質問事項	要 旨
5	6 番 西 川 剛 (民政クラブ)	1 新型コロナウイルス感染症への対応策について	<p>(1) 所信表明中「感染症対策と、その感染症に起因して低迷する地域経済の回復を最優先課題」とあるが、その具体策は</p> <p>① 新型コロナの感染経路について、国はエアロゾル感染（空気感染）を追加した。引き続き、マスク着用の徹底が求められる中、マウスシールド着用についての見解を伺う</p> <p>② これまでの市の対策についての評価は</p> <p>③ 第6波への備えとして、感染状況に応じた受入態勢、治療や検査体制の強化など市民が安心できる医療提供体制の整備、その具体策は</p> <p>④ これまでの対策経費は地方創生臨時交付金の範囲内としていたが、今後の財政措置の考え方は</p> <p>⑤ ワクチン接種の現状と今後のブースター接種の動向について</p>
		2 財政健全化実行計画について	<p>(1) 令和2年度決算状況の要因は、財政健全化実行計画における体質改善に繋がるものか</p> <p>(2) 令和3年度決算見込みと計画の進捗について</p> <p>(3) まずは着実な計画推進を求めるが、仮に見直すのであればその考え方は</p>
		3 脱炭素化による持続可能な地域づくりについて	<p>(1) 北海道の「ゼロカーボン北海道」と歩調を合わせた施策の展開とあるが、未来に向けて、本市のまちづくりの柱としてチャレンジを</p> <p>① 地球温暖化対策推進法に基づく市町村実行計画策定の考え方は</p> <p>② ゼロカーボンシティ表明</p> <p>③ 高気密・高断熱住宅やZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の建設、省エネリフォームと「住宅新築・住宅改修助成事業」について</p> <p>④ 気候変動のピンチを脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりのチャンスに</p>

【10月27日（水）】

順	通告議員	質問事項	要 旨
6	16番 山居忠彰 (民政クラブ)	1 渡辺新市長が所信表明で言及された政治姿勢と基本方針や主な政策について	(1) 渡辺新市長の政治哲学、信条、信念、モットーは (2) 市政運営における8つの基本的視点からの新しい取り組みとは (3) 今後の主な行政問題と当面する諸課題は
		2 米価下落の衝撃と干ばつ被害の畑作や酪農家の不安と諦めについて	(1) 本年度産米概算金下落に伴うコメ農家経済への影響緩和策を (2) 高温少雨の「災害級」干ばつ被害で深刻な畑作農家の救済を (3) 改正畜安法施行後初の生乳生産抑制に乳価維持の方策を
		3 いつでも、どこでも、だれでもが参加できる生涯学習を通した元気なまちづくりについて	(1) 老若男女を問わず、学び・考え・育む心豊かなまちづくりを (2) 「GIGAスクール構想」での学校貸与端末によるいじめを見逃すな (3) 九十九大学閉校による影響と学び舎「つくも」の現況は
7	3番 苔口千笑 (公生クラブ)	1 所信表明を踏まえた市長の考え方について	(1) 市内経済の活性化による財政基盤の強化 ①市長の考える重要施策とは何か ②新たな住宅新築・改修助成事業について (2) 魅力の発信強化と観光・合宿受入拡大 ①合宿受入拡大に伴う諸課題について (3) 学力向上への支援と魅力ある学校づくり ①学校施設整備についての考え方は (4) 社会インフラの維持と防災への備え、公共事業の確保 ①地域防災マネージャー制度活用の現状と今後について ②環境整備の考え方や優先順位について
8	2番 中山義隆 (公生クラブ)	1 農業振興対策について	(1) 農業者人口減少について (2) 大和牧場の今後の対策について (3) 農業支援員（地域おこし協力隊）について
9	4番 真保誠 (公生クラブ)	1 組織機能の強化についての考え方	(1) 職場環境づくりの基本的な考え方 (2) 職員のスキルアップの考え方と手法 (3) ボトムアップの短所はどう解消するか
		2 6次産業の開発促進について	(1) 現行特産品に加え、改良や新しい特産物の開発についてどのような考え方で進めていくのか

【10月28日（木）】

順	通告議員	質問事項	要 旨
10	10 番 村上 緑一 (公生クラブ)	1 地域公共交通のあり方について	(1) 地域交通の現状について (2) 次世代モビリティの考えについて (3) 多寄町での実証試験について (4) 1市3町の公共交通の連携について
		2 コロナ禍による農畜産物への影響と干ばつによる農作物被害対策について	(1) コロナ禍による農畜産物への影響について (2) 干ばつによる農作物被害対策について
11	8 番 佐藤 正 (日本共産党)	1 高温・干ばつによる農業被害は	(1) 被害農家への支援は (2) 米価暴落による支援は
		2 公営住宅について	(1) 空き住宅の活用は (2) 単身者用住宅の確保
		3 福祉灯油について	(1) 今年度の実施予定は
12	7 番 十河 剛志 (民政クラブ)	1. 所信表明の中の「市内経済の活性化による財政基盤の強化」について	(1) 「住宅新築・住宅改修助成事業」について、市内経済の循環も視野に入れた新たな助成制度とは (2) 市民の声の聴取について「新たな仕組みを創設」とは
		2. 所信表明の中の「子どもや高齢者、障がいのある方が暮らしやすいまちへ」について	(1) 市民ニーズにマッチした買い物支援や除雪支援などに対応可能なボランティア制度の確立とは (2) 障がい者福祉での就労支援の考え方は (3) 利用可能な建物を一時的な住まいとして提供するなど、地域の実情にあわせた施策を構築とは
13	12 番 国忠 崇史 (無会派)	1 JR北海道への国からの支援を宗谷本線に	(1) 3月に「改正JR支援法」が採択された。JR北海道に3年間で1,302億円の支援を行うなどである。本市として、宗谷本線への投資を行うよう求めるべきだ (2) 瑞穂駅、多寄駅などの維持補修を
		2 図書館の管理について	(1) 緊急事態宣言中は休館もしくは貸出しのみ開館だったが、利用状況は (2) 道内のいくつかの図書館では、令状なしに警察に対して貸出履歴を開示し問題になっている。本市の対応はどうか
		3 灯油高騰対策	(1) 1リットル100円をにらんで高騰中である。低所得者への対応は (2) 福祉施設への補助・助成の単価を考え直すのか